

視点を変えれば、 世の中は変わる。

たとえば
半分だけ水の入ったコップを見て、
もう半分しかない、と思うか、
まだ半分もある、と思うか。

視点を変えれば、
世の中の見え方は変わってきます。
当たり前だと思っていたことでも、
違う視点から見つめ直してみると、
新しい発見があることがあります。

Rethinkフォーラムは、
一人では気づけない
新しい視点に気づくことで、
地域活性化のきっかけを見つける場です。

視点を変えれば、世の中が変わる。
地域が変わる。
未来を変える発見は、
意外と身近に
あるのかもしれない。



「Rethinkフォーラム～視点を変えれば世の中が変わる。～」(神奈川県新聞社主催、神奈川県、鎌倉市、鎌倉市教育委員会など後援、Rethink PROJECT協賛)が、10月21日に鎌倉市の鎌倉パークホテルで開かれました。第1部は演出家のテリー伊藤さん(鎌倉市在住)が「自然はライバルにならない」と題したトークを展開。第2部は松尾崇鎌倉市長と、料理家の矢野ふき子さんが加わり、パネルディスカッションで「Rethink神奈川～みんなが自分らしくいられる社会づくり～」をテーマにさまざまな観点から意見を交わしました。要旨を紹介します。

ゲスト



いとう
テリー 伊藤氏 (演出家)

演題：自然はライバルにならない

1949年東京都生まれ。日本大学卒業。テレビ制作会社に入社し、その後独立。「天才・たけしの元気が出るテレビ!!」をはじめ、数々のテレビ番組やCMを演出。現在はコメンテーターやYouTube配信など幅広く活躍中。今年3月、慶應義塾大学大学院修了。

自然のモノにふれあうと心が豊かに

——鎌倉にお住まいとお聞きました。
鎌倉に住み始めて30年になります。僕は学生時代にヨット部でしたが、テレビ業界へ入り、寝る暇もなく働いていた時、ふと東京で風が吹いているのを見て、湘南の海が波立っているかどうかが気になりました。その思いがあって、鎌倉を選びました。みなさんも東京から鎌倉へ戻ってくると、ホッとするでしょ。それだけの力が自然にはあり、鎌倉にはあります。

★ 自分の実力で涙した唯一の思い出

——今回のトークタイトルは「自然はライバルにならない」ですが、このタイトルに込めた思いをお聞かせください。
例えばスマホで新しい機能が搭載されても、多分僕は半分くらいしか機能を使いこなせないと思います。そうすると時代に取り残されている気分になります。モノが便利になる一方、それがストレスになり、ライバルの存在になります。音楽でもCMでも新しく何かよく分からなくて、理解できないものはライバルになります。でも、自然を理解できないことはないし、世間も周らないし、海や山に嫉妬する人もいません。だからライバルにはなりません。
皆さんも一日に5分でもいいので人間が作れないものを見るようにしてください。自然はもちろん、犬や猫でもいいです。人間が作れないものと接すると心が豊かになります。僕は朝と夕方に散歩していて、この会場の前にある七里ヶ浜をよく歩いています。

——その散歩が多忙なテリーさんのストレスを発散させているのですか。そもそもテレビ業界に入るきっかけは？
大学を卒業した後は、しばらくブータローをしていましたが、ある時にふと人生を振り返りました。「俺の人生で何が一番

楽しかったか?」と。すると、学生時代に自分でコンサートを企画して開催した時のことが頭に浮かびました。他校からも人を集めて、会場を借りて、自分で司会もしました。それが終わって幕が下りた時に、自然と涙が流れたことを思い出しました。自分の実力で泣けたのってその時だけだった。それで演出家の道を切り開きたいと思い、テレビ業界に飛び込みました。それからトントン拍子でした。一日3時間しか寝られない生活が何年も続きましたが、あの当時は徹夜することがかっこいいみたいな変な価値観がありました。でも、モノを考えることはお金がかからないので、今でも常に面白いことをやりたいと考えています。

★ 何も知らない、何もできない自分が面白い

——テリーさんと言えば過激で面白い企画ですが、そういうアイデアはよく出てくるのですか？
天才だから出てきました(笑)。「元気が出るテレビ」、「ミスカボリス」、「アサヤン」とか、ユニクロのCMも手掛けています。今はネットが浸透したことで、情報が一気に広まり自分だけが知る情報がないというマイナスな面もあります。やっぱり企画やアイデアというのは自分の中だけで考えたものがいいです。放送作家志望の人に企画書を書かせると、必ずタレント名を用いた企画を作ります。そこで、タレントを使わないようにしようと、タレントに頼らず自分の力だけになるのでベンが止まります。そうして、苦しみながら考えた結果、家族と遺産相続でもめているとか恋人と上手くいってないとか、個人的な内容を書き始めます。それこそあなたしか知らない情報なので、そういうことを活用した方が良く伝えます。タレント不要の番組「SASUKE」が今度のロサンゼルス五輪の競技になることが決定しました。自分が考えた企画がそうやって展開するのは面白いです。番組も映画もヒットする作品はタレントに頼

っていないものが多い。昔の映画界には石原裕次郎さんや高倉健さんなどの看板俳優がお客さんと呼んでいましたが、今は内容が良くない人は来ませんから、その点は健康的かも知れません。

——3月に慶應大学大学院を修了されましたが、なぜ大学へ行かれたのですか？

ままならないものにチャレンジしたかったからです。僕はお金も車も家も持っていて、ある程度満たされた状態で、名前も売れています。こういう時に何が必要かという、ままならないものに出会うことです。そうすると、チャレンジャーになれるし、若くいられるからです。でも、いざ入学しようとする願書もパソコンで作って提出して、写真も自分で撮るし、当時の学生時代とは全然勝手が違うから大変でした。僕はパワースポットとパワーポイントの違いもわからなかったくらいのアナログ人間ですから、知らないことはばかりでした。でも、何もできない自分が面白くて、そういうのも楽しかったです。

——知らないことは恥ずかしかったりしますが、それを面白いと転換できるのがすごいですね。

知らなくてもおっちゃんだから恥ずかしいことはないです。それより今は人間としてちゃんとしているかどうかの方が大事で、交通ルールを守るとかゴミをちゃんと出すとかの一般的なことです。意外と気遣い屋で、夜遅く風呂に入る時は近所迷惑にならないように音をたてないようにしています。今までさんざん無茶なことをやってきたから、なるべく人の迷惑にならないようにしています。天国に行くための帳尻合わせかも知れないです。

Rethink神奈川～みんなが自分らしくいられる社会づくり～

パネルディスカッション出演者 テリー 伊藤氏(演出家)、松尾 崇氏(鎌倉市長)、矢野 ふき子氏(料理家)、南雲 岳彦氏(SCI-Japan専務理事)

「誰かのため」が「みんなのため」に

南雲 共生社会の実現への取り組みをお聞かせください。
松尾 鎌倉市では全国でも珍しい共生社会の実現を目指す条例を制定し、さまざまな取り組みを実施しています。鎌倉リビングラボでは、地域住民の方を主体に大学や行政などが連携してサービスやモノを生み出し、暮らしを豊かにする取り組みをしています。鎌倉市障害者二千人雇用センターでは、障害のある方もさまざまな仕事ができるようにサポートしています。また、日本初のバリアフリービーチでは、車椅子でも砂浜を横断できるように木製ボードを設置しています。これが、つえを突く人やベビーカーの通行にも役立つ結果を生み、誰かのためになることはみんなのためにもなるという気持ちもありました。

テリー パラリンピックの応援大使をしていますが、選手の皆さんから「障がい者=いい人」は苦しいと聞きます。あまり特別視するのはよくないですね。障がい者も普通の人間ですから。

廃棄処分されていた海藻を有効利用

南雲 鎌倉海藻飼料についてお聞かせください。
矢野 砂浜に打ち上げられて廃棄処分されていた海藻を、鎌倉漁業協同組合の許可を得て障がい者や老人ホームの方で回収し、洗

って、干したあと粉砕し、鎌倉海藻飼料として福祉施設が販売しています。みなさんが社会参加できるとともに、海藻の廃棄費用も削減できます。

松尾 夏は放置された海藻が腐り臭がしました。砂浜に埋めるしかなかったので、その発想の転換は素晴らしいです。

矢野 鎌倉海藻飼料を配合した給餌で飼育された鎌倉海藻ポークは脂肪分が少なく、うま味が強く、脂の融点が高いという成分検査結果もあり、市内のレストランで食べることができます。また、今年度から市内の小、中学校の給食にも提供されており、授業でSDGsを含めた食育を進めています。

発想の転換でどんなことでもできる

南雲 誰もが安心して自分らしく暮らせる町を創出するために必要なことは何でしょうか。

テリー 町が便利さやオシャレさを求めると、東京と同じようになり魅力がなくなります。僕は古い鎌倉が好きなので、多少不便でもそれを良さととらえて自然を大切にしたいです。

松尾 鎌倉市では不登校や引きこもりが増加しています。対策として、学校へ行きづらい子に適した学び方を考え、その子の特性を伸ばす取り組み「かまくらULTAプログラム」の実施や、特別な

カリキュラムを作成する「不登校特別校」を予定しています。また、「鎌倉Fika」ではたき火を囲んで語るイベントを実施しています。語り合うだけで仲間ができたようになり、好評です。

矢野 料理と起業の共通点はゼロからモノをつくることです。それぞれの素材の特徴を生かし、多様な手法を使えば、今までにないものや考え方を生み出すことができます。新しい気づきで誰もが自分らしく暮らせる町をつくり出してほしいです。

迷ったときは面白そうな方へ行く

矢野 世の中が「海藻はゴミ」と言っても、そこに「疑問」を持ったことにより鎌倉で初めてのブランド豚は生まれました。Rethinkの小さな動きが社会を動かす力になると思います。

テリー ある年齢になったら、自分が幸せだったかどうか、自分をジャッジしてください。そうして、「もう夢は叶えたし、これからは周りに恩返ししよう」と考えるのも大切です。年をとると慎重になりますが、迷った時は保守的にならず面白そうな方へ行くのもいいと思います。

松尾 鎌倉市民は鎌倉を愛している方が多いと感じます。そんな皆さんの声に柔軟に応えられるようにRethink市役所として頑張っていきたいと思っています。

